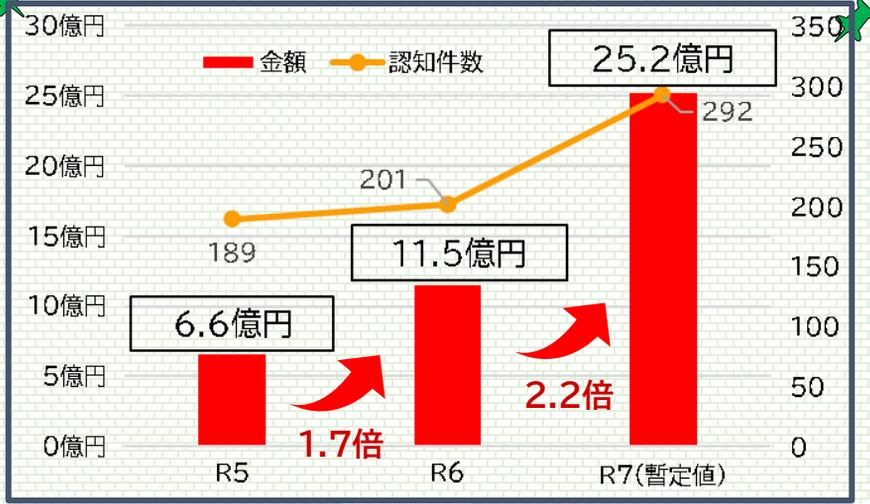


京都府消費生活安全センターからのお知らせ

府内高齢者の特殊詐欺被害の状況(令和7年) ～特殊詐欺被害額、過去最悪～

本資料は京都府警HP「特殊詐欺」を参考に、京都府消費生活安全センターが作成
<https://www.pref.kyoto.jp/fukei/anzen/furikome/index.html>

令和7年京都府内の特殊詐欺 被害状況

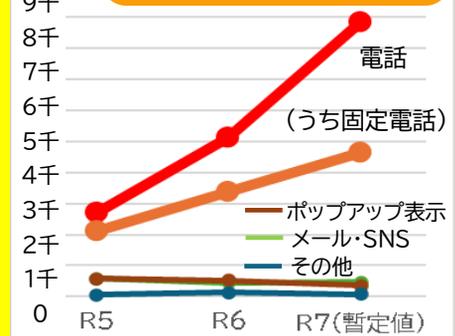


【特殊詐欺】特徴①

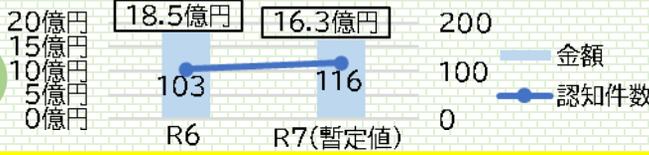
犯人から被害者への最初の接触方法は、9割以上が「電話」です。

- ▶ 固定電話 59% (R6 79%)
- ▶ 携帯電話 35% (R6 13%)

予兆案件の認知状況



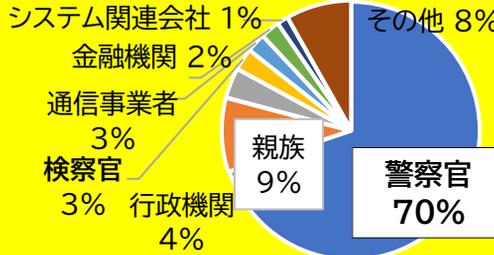
(参考・R7京都府)
SNS型投資・ロマンス詐欺



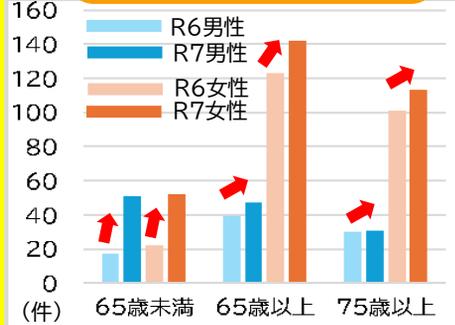
【特殊詐欺】特徴②

- ✓ 警察官を名乗る「オレオレ詐欺」が急増しました。
- ✓ 65歳未満の被害が急増した一方で、高齢者の被害も引き続き増加しています。

【特殊詐欺】主たる詐称名



【特殊詐欺】性別・年齢層別



被害防止対策 「京都府警からのお知らせ」より

■ 犯人からの電話の約7割は、国際電話番号によるものです
 固定電話だけではなく携帯電話への詐欺電話も増加しています

■ 電話の被害防止対策(どちらも無料です)

- ▶ スマートフォン…詐欺電話をブロックする機能のある警察庁推奨アプリを利用しましょう
- ▶ 固定電話…国際電話不取扱受付センターに国際電話利用休止の申し込みをしましょう



▶ 警察庁・SOS47
特殊詐欺対策ページ



▶ 国際電話不取扱
受付センター



～高齢者・障害者を消費者被害から守るために～

見守り活動者対象

消費生活講座 を実施します

福祉・介護施設の職員など、高齢者等と関わりのある活動をされている方に、消費者被害の状況や対処法、見守りのポイントなどに関する講座を無料で実施します。是非ご活用ください。(原則、平日のみ)

お問い合わせ・申込み

京都府消費生活安全センター 企画・啓発係

TEL:075-671-0030 FAX:075-671-0016 E-mail:kyo-shohisen@pref.kyoto.lg.jp

ホームページ:<http://www.pref.kyoto.jp/shohise/index.html>

消費者
ホットライン

